



KITAMAE-BUNE

2025

11/20 木 THU

11/22 土 SAT

【主催】
北前船フォーラム in 信州まつもと実行委員会

【協力】
一般社団法人北前船交流拡大機構
一般社団法人地域連携研究所

【特別協賛】
株式会社 SGC
日本たばこ産業株式会社

令和に呼び覚ませ、塩の道

「海洋と内陸の経世済民」

第36回

北前船

フォーラム
in 信州まつもと

第7回地域連携研究所大会



豊田利忠が天保14年・1843年に著した「善光寺道名所図会」から「塩の道佐野の集落（現在の白馬村）」

KITAMAE BUNE FORUM

ご挨拶

北前船フォーラム in 信州まつもと
実行委員会 特別顧問

長野県知事 **阿部 守一**



「第36回北前船フォーラム in 信州まつもと」が盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国より長野県へお越しいただいた関係者の皆様を心より歓迎いたします。

内陸に位置する長野県ですが北前船との関係性はとても深く、江戸時代、北前船によって糸魚川へ運びこまれた瀬戸内海の「塩」は「塩の道」を通過して信州まで運ばれていました。

「塩」は長野県の人々の生活にとって欠かせないものでありましたが、「塩の道」では、モノの交易だけでなく、人や文化の交流が活発に行われ、街道沿いは大いに賑わうなど、北前船は信州・長野県の地域の活性化にも大きく寄与してきたという歴史があります。

このたび、内陸地である信州・松本で本フォー

ラムが開催されることは、北前船が日本全国の港を巡り、港と里を繋ぎ、寄港地のみならず各地の人々の暮らしを豊かにしてきたことを物語るものです。

お越しいただいた皆様には、初の内陸地開催である今回のフォーラムを通じて、北前船が運んだ文化や交流の軌跡を時を超えて追体験していただきたいと思ひますし、この度の交流の機会を通じて地域間の連携・交流をさらに深め、それぞれの発展に繋がる取組を推進してまいります。

結びに、今回の開催にご尽力を賜りました一般社団法人北前船交流拡大機構をはじめ、関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、皆様の今後の益々のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。

ご挨拶

北前船フォーラム in 信州まつもと
実行委員会 会長

松本市長 **臥雲 義尚**



松本で開催される「第36回北前船フォーラム in 信州まつもと」「第7回地域連携研究所大会」に、全国各地から参加される皆さんを、心より歓迎いたします。初めての内陸地開催となる今回の北前船フォーラムは、「令和に呼び覚ませ、塩の道～海洋と内陸の経世済民～」をテーマに、北前船の寄港地を超えて、観光・経済のネットワークを構築する貴重な機会になると確信しています。

海のない信州ですが、北前船とは深いつながりがあります。かつて瀬戸内海や赤穂から千国街道（糸魚川から松本・塩尻までの、いわゆる「塩の道」）を通り、人間のいのちと暮らしに欠かせない塩が運ばれてきました。同時に、糸魚川からは魚・海草といった海産物や肥後の茶、唐津の茶器がもたらされ、信州からは麻・タバ

コ・大豆・生薬類・足袋などが運ばれ、沿線地域相互の活性化が図られました。

信州の中央に位置する松本市は、先人から受け継いできた多様な魅力を「三ガク都」という言葉に込めています。日本最高峰の山々が連なる北アルプスや広大な美ヶ原高原に代表される「山岳の自然」。世界的な音楽祭「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」などを通じて幅広く市民に根付いた「音楽の文化」。全国に先駆けて旧開智学校や旧制松本高等学校を誘致してきた「学問の気風」。城下町・松本が持つ多彩な魅力を心ゆくまで味わってください。

開催にご尽力を賜った一般社団法人北前船交流拡大機構をはじめ、関係者の皆さんに御礼を申しあげ、内陸初のフォーラムの成功を心より祈念いたします。

関係者ご挨拶



一般社団法人 北前船交流拡大機構
名誉会長

新田 嘉一

第36回北前船フォーラム in 信州まつもとの開催誠におめでとうございます。国内で初となる内陸地での開催は、まさに北前船の持つ多様な文化と経済を繋ぎ、地域を豊かにしてきた歴史を表現するものであります。

さらに、新しいステージを創り未来を拓くフォーラムとなることを確信します。参加された皆様の活発な議論と交流を通して、新たな価値創造と地域活性化に繋がることを期待しています。皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



一般社団法人 北前船交流拡大機構
理事長

瀧田 健一郎

北前船寄港地から始まった本フォーラムも36回目を迎え、初めて内陸の地で開催の運びとなりました。北前船が運んだ物資や文化は、海路のみならず街道を通じて内陸の地にも深く根付いております。古代より海と陸（おか）の道で繋がる日本の交流史に思いを馳せ、本大会を機に、私たちの取り組みが日本全国へさらに広がることを心より祈念いたします。また開催に際しまして準備等で大変ご尽力頂きました松本市を始めとした長野県内の自治体関係者の皆様には深く感謝を申し上げます。



衆議院議員
一般社団法人 地域連携研究所 自治体会員会長

福原 淳嗣

第36回北前船フォーラム in 信州まつもと並びに第7回地域連携研究所大会のご開催誠におめでとうございます。「経済あつての財政、強い経済を作る。」高市早苗内閣総理大臣が掲げる経済財政政策に最も適うのが市町村の区分を超えた地域連携を創り出せる観光だと確信しております。市長を経験した衆議院議員として、地方の地域同士が繋がる地域連携研究所会員の皆様と共に、国政という立場から地域課題解決に取り組んでまいります。



日本航空株式会社 副会長
一般社団法人 地域連携研究所 企業会員制度代表

清水 新一郎

第7回地域連携研究所大会が、海に面していない「信州まつもと」にて開催される運びとなりました。本大会の意義は地域連携研究所の存在そのものとも言えます。当研究所は交通系企業だけでなく、志を同じくする民間企業にご参加いただき、官民がそれぞれの強みや特性を活かし、相互交流を深め、未来につながる地域間交流の礎を築くことを目的としています。私ども JAL グループも「移動の目的」を創り、「心地よく移動できる環境」を創る「関係・つながりの創出」に取り組み、地域の活性化を支援してまいります。開催にあたりご尽力いただきました多くの皆さまに感謝申し上げます。



一般社団法人 北前船交流拡大機構
会長

岩村 敬

今回は、初めて海に面していない松本市での開催となります。北前船により運ばれる物資・文化は、川や道を使って内陸部へ（または内陸部から）運ばれていました。松本は、北前船を使って運ばれた塩をはじめとする物資が集散する要衝となっていました。今回のフォーラムは、副題にあるとおり、「塩の道～海洋と内陸の経世済民」を現代に呼び覚ますことを狙ったものです。フォーラムを通じ、歴史を振り返り、未来への途が開けることを期待してやみません。



株式会社ANA 総合研究所 取締役副社長
一般社団法人 北前船交流拡大機構 理事長代行

森 健明

第1回開催より、海沿いの北前船寄港地で開催されてきたフォーラムが、初めて内陸の地長野県松本市で開催される事になりました。長野県民として子供の頃から歌ってきた「信濃の国」の歌詞「海こそ無けれどものさわに」（海はなくても、あらゆるものが豊富にある）という言葉の背景に、長野県と各地を結ぶ街道と、江戸時代後期に活躍した北前船の物資がもたらしたものがあります。このような自治体は他にも多数あり、今回のフォーラムを機に多くの内陸の自治体の仲間が増える事を祈念しております。



岡山市長
一般社団法人 地域連携研究所 自治体会員共同会長

大森 雅夫

第36回北前船フォーラム in 信州まつもとの開催をお喜び申し上げますとともに、第7回地域連携研究所大会に多くの皆様にご参加いただき心より感謝申し上げます。地域連携研究所は、地域同士が直接つながりネットワークを構築して地域の活力を生み出そうという考えのもと、官民連携して地域の活性化や観光の促進に取り組んでいます。本フォーラム及び大会が地域同士の連携を深めるとともに、新たな交流と発展の契機となることを期待しております。



東武タワースカイツリー株式会社
代表取締役会長
一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長

久保 成人

「北前船フォーラム in 信州まつもと」の開催にあたり、ご尽力頂きました多くの関係の方々へ深く感謝申し上げます。

北前船は日本の多くの港に寄港いたしました。港と内陸の地も河川・街道で強く結びついていました。信州はこの代表例です。日本各地が有機的に結びつき、大きな力を発揮していたよき例であるこの地信州でのフォーラムが、実りあるものとなることをご祈念いたします。



西日本旅客鉄道株式会社 理事
マーケティング本部 鉄道マーケティング部長
一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長

岡田 学

北前船フォーラム in 信州まつもとの開催にあたり、ご尽力をいただきました多くの皆様へ心より感謝申し上げます。松本市は当社エリアの糸魚川から千国街道で結ばれていた地域です。北前船が各地に運んだ数多くの文化を活かし、地域活性化の取り組みを今後も引き続き進めてまいります。

今回のフォーラム開催を契機に、北前船文化がより広く発信され、地域間の交流が益々拡大していくことを祈念いたします。



株式会社ANA 総合研究所 取締役会長
一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長

功刀 秀記

第36回北前船フォーラム松本大会の開催にあたり、あらためてこれまでフォーラムを継続してきた関係者のご尽力に感謝申し上げます。

初の内陸開催地である松本は、北前船が繋いだ「海の交流」が「内陸の文化」と深く結びついた象徴的な地です。さらに歴史を遡れば、海の民・安曇族がこの地（安曇野）と九州を繋いだように、古代史にも広域連携の知恵が眠っています。

本フォーラムが、近世の北前船、さらには古代の縁をも力とし、日本の地域を繋ぐ新たな未来を拓くことを祈念いたします。



東日本旅客鉄道株式会社
常務取締役マーケティング本部長
一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長

中川 晴美

「第36回北前船フォーラム in 信州まつもと」の開催にあたり、ご尽力いただきました皆様へ心より感謝申し上げます。北前船ゆかりの観光資源を活用した地域間のネットワーク構築や地域活性化に向けた様々な取り組みが、各地で広く展開されていることを大変意義深く感じております。

今回、長野県で初のフォーラム開催となりますが、関係する皆様の交流・連携を一層促進させ、地方創生の更なる推進につながっていくことを祈念いたします。なお、2027年7月から、JRグループでは自治体や関係団体の方々と連携して「信州デザインエシオニケーションキャンペーン」を開催します。長野県の魅力を広く発信するとともに、交流人口・関係人口の拡大に継続して取り組んで参ります。



日本航空株式会社 執行役員
一般社団法人 北前船交流拡大機構 副会長

西原口 香織

第36回北前船フォーラムが、海洋から塩がつながる「信州まつもと」で開催される運びとなり、感謝申し上げますとともに、ご尽力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。かつて海運の大動脈を担った北前船の往来は、人々の暮らしを豊かにする生活必需品を運ぶとともに、文化や産業を育んできました。現代の北前船は航空会社や鉄道会社が地域活性化の分野で力をあわせ、地域間交流の拡大を推進し、更なる地域活性化や訪日外国人の誘客拡大を目指しています。JAL も人々やモノが自由に行き交う心はずむ社会や未来の実現に向けて翼を広げ、地域と地域をつなぎむすぶことに取組んでまいります。



株式会社日本旅行
取締役会長

小谷野 悦光

「第36回北前船フォーラム in 信州まつもと」の開催心よりお祝い申し上げます。当社におきまして「信州」には格別なつながりがございます！

滋賀県草津で創業し奇しくも今年11月で「創業120周年」を迎えた当社の創業期の最大重要事業が鉄道を利用した貸切団体列車での「善光寺参り」であったからです。

ちなみに来月には多くの関係者の協力を得て「120周年事業」として大阪～長野までの臨時貸切団体列車を復活運転させていくなか、引き続き格別なつながりの「信州」について観光振興はもとより、交流人口、関係人口の拡大に向け最大限の取り組みを行ってまいります。

北前船フォーラムに期待する声



衆議院議員
元 経済産業大臣、法務大臣、農林水産大臣

齋藤 健

「第36回北前船フォーラム in 信州まつもと」が開催されますこと、お慶び申し上げます。
今回のフォーラムは、信州まつもとにおきまして「令和に呼び覚ませ、塩の道～海洋と内陸の経世済民」をテーマに開催されますが、江戸時代、北前船を通じて貴重品だった塩を新潟県上越から松本まで約120キロを運ぶ街道は、塩街道とも呼ばれるほど重要なものでありました。南隣の塩尻市は、その最終地なので、塩「尻」との説もあるほどです。

江戸時代の塩街道は、貴重な塩や海産物の交易にとどまらず、人や文化の交流の場であったことは容易に想像できます。また、かつて、越後の上杉謙信が甲斐の武田信玄に「塩を送る」逸話があるなど、そういった背景が、信州長野県が義に厚く教育熱心な県といわれる一因かとも思えてしまいます。

今回のフォーラムが、北前船文化を再認識する良い機会となり、日本の地域が連携してシナジー効果を発揮する機会となりますことを祈念いたしております。



参議院議員
元 財務副大臣、復興副大臣

横山 信一

「北前船フォーラム in 信州まつもと」の開催をお慶び申し上げます。
これまで、本フォーラム関係者からの示唆をいただきながら、地方創生のために伝統工芸品の欧州展開を国会で取り上げてきました。人口減少と縮小する国内需要の中で、地方が生き延びるにはどれだけ海外需要を取り込めるかが鍵になっています。伝統工芸品の多くは、優れた芸術性を持ちながら海外に知られることはありませんでした。

伝統工芸品を欧州の富裕層に売り込むには、土産物からアートにまで磨き上げなければなりません。富裕層にマッチングする仕組みも必要です。

これらを実現するために内閣府が進めている「地域産品の海外展開のための実証調査事業」では北前船交流拡大機構が採択されており、地域資源を活かして稼げる地域経済を作るための役割が期待されています。

地方創生2.0の実現のために、北前船交流拡大機構と地域連携研究所が益々発展することをご祈念申し上げます。



衆議院議員
元 文部科学副大臣 兼 内閣府副大臣

浮島 智子

この度は、長野県松本市において「第36回北前船フォーラム in 信州まつもと」が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。また、これまで永年にわたり「北前船フォーラム」の開催に尽力されてきました関係の皆様へ心から敬意を表します。

今回、内陸の松本市でフォーラムが開催されることは、大きな意義を有するものと感じています。日本海から松本につながる「塩の道」が、内陸と日本各地の交易の活性化につながり、日本各地の生活の質の向上と繁栄をもたらしたという北前船の功績をさらに広く称えることとなるでしょう。

北前船は、平成29年度に文化庁から「日本遺産」に認定されています。日本遺産は、私たちがその創設を提唱させていただき実現したのですが、各地に点在する文化資源をストーリーでつなぎ、その文化的魅力を発信することで地域活性化につなげる取組です。全国の日本遺産の中でも、最も広域かつ充実した連携・活動には常に深い感銘を受けております。

今回のフォーラムの開催を通じて、北前船に関する皆様の連携がより一層強固なものになり、更なる発展につながることを心より期待申し上げます。

国土交通省 事務次官



水嶋 智

「第36回北前船フォーラム in 信州まつもと」が盛大に開催されること、お慶び申し上げます。振り返りますと、私は、観光庁の観光資源課長をしていた2008年に秋田県にかほ市で開催された第2回のフォーラムにはじめて参加し、その後も、全国各地で開催される数多くのフォーラムに参加してまいりました。回を重ねるごとに規模が拡大し、参加者間の交流を通じ地域の輪が広がるだけでなく、人と人のつながりがより強固になってきたことを身をもって感じています。

「観光」という言葉は、中国の四書五経の易経にその由来があり、「国の光を観る」という意味です。我が国には美しい自然や豊かな文化、先人から受け継いできた匠の技術に基づく伝統工芸品など、世界に伝えたい魅力が溢れています。このフォーラムを通じ、参加者の皆さまが長野・松本の魅力を発見し、また連携を深めることにより、地域振興の取り組みがより一層強固なものとなることを期待しております。

株式会社SGC 代表取締役会長 CEO



土屋 豊

北前船フォーラムが、本年、初めて内陸の地である信州松本にて開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。かつて北前船が結んだ海洋の地と、海から遠く離れた松本の地において、その歴史と営みが日本の経済発展にどのような影響を与えてきたのかを改めて見つめ直す貴重な機会となることに、大きな期待を寄せております。

また、弊社にとって松本は特別な縁のある土地でもあります。山々が鮮やかな紅葉に染まる11月に皆様をお迎えできることは、私たちにとっても格別の喜びです。

本フォーラムを通じて、海と内陸の地の未来へとつながる新たな交流と出会いが生まれますことを祈念いたします。

株式会社木下グループ
代表取締役社長兼グループCEO



木下 直哉

第36回北前船フォーラム in 信州まつもとの開催を心よりお祝い申し上げます。本年は、北前船ゆかりの地として初めて内陸・長野県での開催と伺い、誠に意義深く存じます。古くから「塩の道」は、海の恵みを内陸へ、内陸の産物を海へと運ぶ交流の道として、人々の暮らしと地域の発展を支えてまいりました。

その往來には、北前船が育んだ「つながり」と「共栄」の精神が脈々と息づいております。木下グループもまた、文化・スポーツ・地域づくりを通じ、人と人、地域と地域をつなぐ活動に取り組んでおります。

本フォーラムが、海洋と内陸の知恵と力を結び合わせ、持続可能な社会と新たな交流の輪を広げる契機となりますことを心より期待申し上げます。

結びに、開催にご尽力された皆様のご健勝と今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

第36回北前船フォーラム in 信州まつもと

2025年11月21日(金) ホテルブエナビスタ (2階メディアール)

開会式

〈司会〉フリーアナウンサー 本間 香菜子

13:00～13:10	主催者挨拶	長野県知事 阿部 守一 松本市長 臥雲 義尚
13:10～13:20	開会の挨拶	株式会社ANA総合研究所 取締役副社長 一般社団法人北前船交流拡大機構 理事長代行 森 健明 日本航空株式会社 執行役員 一般社団法人北前船交流拡大機構 副会長 西原口 香織
13:20～13:30	北前船日本遺産推進協議会 代表自治体ご挨拶	男鹿市長 菅原 広二 輪島市長 坂口 茂 函館市長 大泉 潤
13:30～13:40	来賓ご挨拶	観光庁 観光地域振興部長 長崎 敏志 株式会社日本旅行 代表取締役社長 吉田 圭吾
13:40～13:50	参加者紹介	一般社団法人北前船交流拡大機構 専務理事 浅見 茂

第1部 基調講演

13:50～14:20	①「寄港地から内陸へ」	近畿大学名誉教授 胡桃沢 勘司
14:20～14:40	②「地域の古代史(歴史)で日本各地をつなげよう」	株式会社ANA総合研究所 取締役会長 一般社団法人北前船交流拡大機構 副会長 刃刀 秀記
14:40～15:00	③「しなのの国から～懐かしくて新しい世界をつくる～」	国土交通省 総合政策局モビリティサービス推進課長 星 明彦
15:00～15:10	〈休憩〉	

第2部 地方における高付加価値インバウンド観光の推進

15:10～16:10	パネルディスカッション	
	ファシリテーター	清泉女子大学 学長 山本 達也
	パネリスト①	観光庁 元長官 和田 浩一
	パネリスト②	株式会社自遊人 代表取締役 岩佐 十良
	パネリスト③	扉ホールディングス株式会社 代表取締役 齊藤 忠政

第3部 伝統的工芸品の海外展開

16:10～16:50		村上市長 高橋 邦芳 株式会社 奥井海生堂 代表取締役 奥井 隆 財務省大臣官房企画官・前欧州日本政府代表部参事官 二宮 悦郎 跡見学園女子大学 准教授 篠原 靖
-------------	--	--------------------------------------------------------------------------------------------

総括

16:50～17:00	東武タワースカイツリー株式会社 代表取締役会長 観光庁 元長官 久保 成人
-------------	---------------------------------------

閉会

17:00～17:05	閉会の挨拶 東日本旅客鉄道株式会社社長 長野支社 執行役員 長野支社長 下大蘭 浩
-------------	-------------------------------------------

基調講演登壇者紹介



近畿大学名誉教授

胡桃沢 勘司

昭和26年 松本市生まれ

(略歴)

昭和50年 立教大学文学部史学科卒業
昭和58年 筑波大学大学院博士課程単位取得満期退学
平成14年 東北大学にて博士(文学)の学位を取得

現在、近畿大学名誉教授

専門は、日本交通史及び日本民俗学。元交通史学会運営委員

「西日本庶民交易史の研究」、「近世海運民俗史研究—逆流海上の道—」など著書、論文及び講演多数あり



国土交通省総合政策局

モビリティサービス推進課長 星 明彦

昭和47年3月 宮城県生まれ

(略歴)

平成10年4月 運輸省(現国土交通省)入省
平成17年6月 在欧州連合日本政府代表部二等書記官
平成20年7月 国土交通省自動車局環境政策課課長補佐
平成22年4月 独立行政法人交通安全環境研究所(現自動車技術総合機構) 企画室長
平成23年4月 国土交通省自動車局環境政策課自動車使用適正化対策官
平成25年7月 国土交通省自動車局安全政策課事故防止対策推進官
平成26年7月 国土交通省航空局航空ネットワーク部首都圏空港課 東京国際空港環境企画調整室長
平成29年7月 海上保安庁総務部政務課企画官
令和元年7月 自動車局総務課企画室長
令和3年4月 観光庁観光地域振興部 観光資源課長
(兼)内閣府地方創生推進事務局 参事官
内閣官房副長官補室/デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官
令和4年6月 内閣府沖縄総合事務局運輸部長/沖縄観光総合施策推進室長
(兼)観光庁観光政策調整官
令和7年7月より 現職

第7回 地域連携研究所大会

2025年11月22日(土) ホテルブエナビスタ (2階メディアール)

開会式

〈司会〉フリーアナウンサー 本間 香菜子

8:45 ~ 9:00	参加者紹介	一般社団法人北前船交流拡大機構 専務理事	浅見 茂
9:00 ~ 9:05	歓迎のご挨拶	長野県 副知事	関 昇一郎
9:05 ~ 9:20	主催者挨拶	衆議院議員 一般社団法人地域連携研究所 自治体会員会長 岡山市長 一般社団法人地域連携研究所 自治体会員共同会長 特別顧問 観光庁 元長官	福原 淳嗣 大森 雅夫 田端 浩

第1部 「地方創生と北前船について」

9:20 ~ 10:00	参議院議員	横山 信一
	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 経営企画部 ブランド戦略 グループ部長	飾 森 亜樹子
	財務省大臣官房企画官・前欧州日本政府代表部参事官	二宮 悦郎
	株式会社ANA 総合研究所 取締役副社長	森 健明

第2部 特別講演

10:00 ~ 11:00	衆議院議員	齋藤 健
	「アニメーション産業の現在地と地域社会への展開可能性」	
	公益財団法人 角川文化振興財団 理事 名誉会長	角川 歴彦
	Rocket Base LLC	水野 寛
	ビジョナル株式会社 代表取締役社長	八ヶ岳農業大学校 理事長 南 壮一郎

第3部 基調講演

11:00 ~ 11:40	①「江戸街道プロジェクト」の紹介	国土交通省関東運輸局長	藤田 礼子
	② 地域連携研究所自治体会員代表	中山町長	佐藤 俊晴
	③ 地域連携研究所企業会員代表	株式会社 源吉兆庵ホールディングス 執行役員	岡田 佳子

諸連絡

11:40 ~ 11:50	会員募集について	地方創生支援官(内閣官房・内閣府)	出口 岳人
		日本航空株式会社 ソリューション営業本部 担当部長	伊東 芳隆
		株式会社ジェイアール東日本企画 未来事業推進局 調査役	大武 みなみ

閉会

11:50 ~ 12:00	閉会の挨拶	日本航空株式会社 副会長	清水 新一郎
---------------	-------	--------------	--------

SGCによる大会記念オブジェの歩み

2022年10月開催の第31回北前船寄港地フォーラム in パリにて大会記念オブジェとして、株式会社SGCが『黄金の北前船』を作成し、ルーブル美術館にてご披露いたしました。参加者の皆様から大変ご好評を頂きましたので、以降の北前船寄港地フォーラムにおいて、恒例として開催地にちなんだ黄金のオブジェをご披露頂いております。



第32回北前船寄港地フォーラム in 沖縄 (2023年2月) [黄金のシーサー]
 第33回北前船寄港地フォーラム in 岡山 (2023年10月) [黄金の桃から生まれた金太郎]
 第34回北前船寄港地フォーラム in 釧路 (2024年6月) [黄金のシマフクロウ]
 第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井 (2024年11月) [黄金のフェニックス]

大会オープニング『昆布カットセレモニー』の歩み

2023年2月開催の第32回北前船寄港地フォーラム in OKINAWA より過去4回にわたり、大会のオープニングを司るテープカットを北海道釧路町の「昆布森」からのご提供による「長昆布」を用いて『昆布カットセレモニー』として開催させていただいております。

釧路町の長昆布は成長すると20mにも及ぶ長さであり、厚くて煮崩れしにくい扱いやすい昆布です。各大会ごとに参加者の代表者の中から「よろこんぶ」と、縁起を担いでカットして頂いております。地元開催でありました第34回北前船寄港地フォーラム in ひがし北海道くしろ大会でも地元の方々からも大変喜ばれました。



北前船日本遺産推進協議会より52自治体の紹介



北前船日本遺産推進協議会
会長/石川県加賀市長
山田 利明

第36回北前船フォーラム in 信州まつもとの開催を心からお祝い申し上げます。

北前船によってもたらされた数多くの文化遺産を活用して地域活性化の取組みが行われ、関連する地域間での活動や交流にもつながってきております。

本フォーラムが沿岸地域の連携だけでなく、内陸からも物資の流れに注目して次なる発展や活性化につなげようという視点で開催されますことは、誠に素晴らしいことでもあります。

今後も北前船が各地へ遺した数多くの文化や交流を活かして地域活性化を図るとともに、さらなる地域間連携の深まりや広域観光の発展に繋がることを期待しております。

動く総合商社「北前船」

江戸時代、北海道・東北・北陸と西日本を結んだ西廻り航路は経済の大動脈であり、この航路を利用した商船は北前船と呼ばれました。北前船は、米をはじめとした物資の輸送から発展し、船主自身が寄港地で仕入れた多種多様な商品を、別の寄港地で販売する買い積み方式により利益をあげたことから「動く総合商社」と形容されています。日本海や瀬戸内海沿岸に残る数多くの寄港地・船主集落は、北前船の壮大な世界を今に伝えています。

Kitamae-bune

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

日本海や瀬戸内海沿岸には、
山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。
そこには、港に通じる小路が随所に走り、
通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。
また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、
京など遠方に起源がある祭礼が行われ、
節回しの似た民謡が唄われています。
これらの港町は、荒波を越え、
動く総合商社として巨万の富を生み、
各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、
時を重ねて彩られた異空間として
今も人々を惹きつけてやみません。



北前船日本遺産推進協議会公式ホームページ



<https://www.kitamae-bune.com/>

北前船こだわり市場



<https://kitamae-bune-shop.com>

北前船日本遺産データベース



<https://kitamae-bune-db.com/db/>

北前船マルシェ



https://globalconsulting.amebaownd.com/pages/6321049/page_202208081244

北前船寄港地フォーラムとは

北前船寄港地フォーラムは、一般社団法人北前船交流拡大機構の評議員議長でもあられました故・石川好先生の「北前船コリドール構想(*)」に賛同した多くの自治体・企業などの支援により、2007年から日本全国で開催しているフォーラムです。

日本海側の寄港地連携、地域間交流による活性化を図る観光フォーラムとして実施され、民間レベルで開催される国内最大級のフォーラムとして認められています。また、2018年には中国・大連にて、2022年にはフランス・パリにて、海外でのフォーラムが開催されています。

2017年8月9日、同フォーラムを母体として、東日本旅客鉄道・西日本旅客鉄道・北海道旅客鉄道・日本航空・ANA総合研究所などが中心となり、一般社団法人北前船交流拡大機構が立ち上げられました。

同機構は、鉄道・航空を中心とした関連企業が地域活性化の分野で力を合わせることで、今まで以上に地域の発展に貢献するとともに、「地域間交流拡大」をより強力に推し進め、地域活性化や国内外からのインバウンド旅客の誘客拡大を目指しています。

(*) 北前船コリドール構想
「北前船」は江戸時代から明治20～30年代まで北海道・東北・北陸・関西・九州を結ぶ重要な物流のネットワークとしての機能を果たしており、100年ほど前には日本海側に立派な経済圏が存在していました。コリドールとは人と物が行き交う通路・大通り・回廊を意味し、かつて日本海側が栄えた「北前船寄港地」ルートを点から面へ、回廊として発展させようとするものです。

フォーラム開催状況

回	開催都市	開催日	テーマ
1	山形県酒田市	2007/11/15	北前船文化遺産の活かし方
2	秋田県にかほ市	2008/4/11	現代の北前船を探そう～地域の連携を強化して～
3	秋田県男鹿市	2008/9/20	甦れ 北前船が拓いた夢航路
4	北海道松前町	2009/5/22	新時代の、北前船浪漫を求めて
5	新潟県新潟市	2009/7/17	北前船スピリット再び～新潟県に今、求められるものは～
6	新潟県佐渡市	2010/3/20	今、佐渡観光に求められるもの
7	青森県青森市	2010/5/28	第1部「国際的視点で青森県の観光振興を考える」 第2部「県外・県内から青森県の観光振興を考える」
8	青森県鯉ヶ沢町 深浦町	2011/5/28	甦れ！北前船の絆を今に！ ～連携による地域活性化と構成への伝承の第一歩～
9	北海道函館市	2012/5/25	受け継がれる北前船マインド(絆)～これからの観光のあり方～
10	新潟県長岡市・寺泊	2012/9/28	世界へ広がる海の道、これからの北前船 ～日本海側の広域連携と世界へ向けた可能性を探る～
11	山形県酒田市	2013/3/8	北前船遺産を日本と世界に発信!!～庄内の発展と北前船～ ～現代に生きる北前船～
12	秋田県男鹿市	2013/7/26	秋田県男鹿市の観光と産業の発展～ロシア/韓国/中国との交流促進～ ～エネルギー・環境と今後の秋田の産業について～
13	新潟県新潟市	2013/10/25	日本海軸と国土の強靱化―拠点としての新潟― ～日本海新時代と新潟～<新潟日報メディアシップ開業記念>
14	秋田県秋田市	2014/4/18	活かそう、大いなる遺産。いま、知と勇のネットワーク ～秋田を輝かせる人たち30人～未来につなぐ観光!秋田の夢・希望～

回	開催都市	開催日	テーマ
15	京都府宮津市	2014/7/25	つなぐ・結ぶ～北前船からの贈り物～ ～貴重な歴史遺産「北前船」を活かした広域連携を考えよう
16	大阪府大阪市	2015/7/17	北前船出発の地 大阪から! ～現代版北前船 新・日本海ネットワーク2015～
17	石川県加賀市	2015/11/13	北前船文化とおもてなし
18	北海道江差町	2016/11/11	日本の浪漫、北前船が北海道新幹線で甦る! ～今こそ繋ごう!観光の絆と言う地方創成新時代～
19	兵庫県淡路島	2017/5/12	人の交流による地域創生
20	岡山県岡山市・ 瀬戸内市・倉敷市・ 玉野市	2017/7/14	古(いにしえ)からの交通の大動脈「瀬戸内海」と国際交流 ～そして未来へ～
21	青森県野辺地町	2017/9/1	むつ湾でつながる観光～現代の北前船で考える広域観光～
22	鳥取県鳥取市	2017/11/24	来たまえ!!環日本海新時代～北前船レガシー友情・平和・交流の海へ～
23	中国 大連市	2018/5/27	海を越えた交流の拡大へ 日本と中国の架け橋に
24	福井県坂井市	2018/7/13	日本遺産で甦る、観光と文化の北前船新時代 ～港民が紡ぐ異空間 湊・三国スタイル～
25	新潟県長岡市	2018/8/31	北前船でつなぐ寄港地交流～米百俵の精神を次世代へ～
26	広島県尾道市	2018/11/16	名産品でつながる北前船寄港地～地域間交流新時代の幕開け～
27	山形県庄内地区	2019/9/12	北前船が紡ぐ、新たな日中地方都市間交流
28	北海道小樽市・ 石狩市	2019/10/20	北前船往来～日本の案英と近代化を支えた絆をふたたび～
29	鹿児島県鹿児島市	2020/2/2	明治維新の力・北前船で広がる交流の輪 ～令和の新たな輪は海を越えて
(※)	島根県浜田市	2020/3/14	歴史・文化を活かした地域活性、地方の観光新時代
(※)	中国 大連市	2020/5/24	—
30	秋田県秋田市	2022/3/19	北前船で旅した秋田蘭画～つなげる・つながる世界と未来～
31	フランス パリ市	2022/10/18	日本の食文化を世界に
32	沖縄県那覇市	2022/2/3	北前船、新たな船出へ ～万国津梁の地、沖縄からアジア、そして世界へ～
33	岡山県 岡山市・倉敷市・ 瀬戸内市・備前市・ 玉野市	2023/10/5	北前船と吉備の穴海～海と川が織りなした文化・産業～ 晴れの国・岡山から世界へ
34	北海道釧路市	2024/6/29	世界三大夕日に集う食・人・歴史 ようこそ豊かな大自然に抱かれし宝の大地へ
35	石川県加賀市 福井県	2024/11/22 2024/11/23	能登半島地震からの北陸復興に向けて 北陸新幹線延伸開業を契機に北前船文化を世界に発信

(※) 新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となりました。

地域連携研究所とは

「一般社団法人地域連携研究所」は2021年1月に、地域連携を進めるために設立された一般社団法人です。2007年から18年間35回にわたり地方と地方の広域連携となる、「地域間交流」をテーマに観光交流プロジェクトとしての「北前船寄港地フォーラム」を展開してきた「一般社団法人北前船交流拡大機構」の兄弟法人として設立されました。

「一般社団法人北前船交流拡大機構」は北前船ゆかりの土地の観光資源、歴史的遺産の魅力を発信しながら、地方同士の連携を深めることを目的に活動しています。この活動は、現在52自治体で構成されている日本遺産、「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」(2017年認定)としても実を結んでいます。

これまでの経験、実績、信用をもとに北前船の寄港地に限定することなく、広く地域の連携を果たすことを目的に、地域連携研究所が設立された次第です。従来からの『大都市と地方』の関係で地方振興を図るのではなく、東京に頼らず『地方の地域同士』が直接つながり、ネットワークを構築し地域の活力を生み出そう」という考えはそのままに、より広域の活動を担っていくものであります。

概要

一般社団法人地域連携研究所は、広く一般市民に対し全国各地域に関する情報の発信、交流の促進、人材の育成及び地域連携の構築に関する事業等を行い、地域の活性化及び観光の促進を目的とし、その目的に資するため、次の事業を行います。

1. 全国各地域の活性化及び振興に関する事業
2. 全国各地域に関する調査、研究、情報の収集及び提供に関する事業
3. 講習会、セミナー、イベント等の企画、立案、運営および実施に関する事業
4. 文化および観光の振興並びに交流の促進に関する事業
5. 地域振興、地域連携の構築、国内外における交流促進等に関わる個人、団体等との連絡、相談、支援、指導及び連携に関する事業。
6. その他地域の活性化及び観光の促進に資するための一切の事業

沿革

2021年1月	一般社団法人として設立
2022年3月18日	自治体会員制度発足式開催(於 秋田)
2002年10月18日	企業会員制度発起人会発足式(於 パリ)
2023年2月2日	企業会員制度発足式開催(於 沖繩)
2023年10月5日	第4回地域連携研究所大会開催(於 岡山)
2024年6月29日	第5回地域連携研究所大会開催(於 釧路市)
2025年11月22日	第6回地域連携研究所大会開催(於 加賀市)

役員紹介

理事長	濱田 健一郎
専務理事	浅見 茂
自治体会員会長	福原 淳嗣(衆議院議員/前大館市長)
自治体会員共同会長	大森 雅夫(岡山市長)
企業会員代表	清水 新一郎(日本航空株式会社 副会長)
理事(理事長代行)	森 健明(株式会社ANA総合研究所 取締役副社長)
理事	伊東 芳隆(日本航空株式会社)
理事	古澤 英樹(東日本旅客鉄道株式会社)
理事	大野 大輔(西日本旅客鉄道株式会社)
理事	本宮 重人(株式会社ANA総合研究所)
特別顧問	田端 浩(観光庁 元長官)

レセプション

2025年11月21日(金) ホテルブエナビスタ(3階グランデ)
受付開始17:15~/開催時間17:45~

エクスカージョン

A 令和に呼び覚ませ、塩の道「千国街道」コース

11/20(木)

糸魚川フォッサマグナミュージアム(糸魚川市)
千国の庄史料館(小谷村)
道の駅(白馬村)
塩の道ちょうじや(大町市)
信州松崎和紙体験(大町市)
ホテルブエナビスタ着(松本市)

- 前夜祭・宿泊 -

前夜祭 19:00~(ホテル2階メディアールAにて)

11/21(金)

天蚕工場(安曇野市)
保高宿(車窓・安曇野市)
国宝松本城(松本市)
ホテルブエナビスタ着(松本市)



B 発酵・文化の歴史がつなぐ街道「中山道」コース

11/20(木)

サンサンワイナリー(塩尻市)
酒蔵「YUKAWA」(木祖村)
藪原宿(木祖村)
ホテルブエナビスタ着(松本市)

- 前夜祭・宿泊 -

前夜祭 18:00~(ホテル2階メディアールBにて)

11/21(金)

国宝松本城(松本市)
松本市美術館(松本市)
ホテルブエナビスタ着(松本市)



C 時を超え、“知”と“美”にふれる旅「北國街道」コース

11/20 (木)

善光寺 (長野市)
真田宝物館・真田邸・文武学校 (長野市)
重要伝統的建造物群保存地区 (須坂市)
信州の湯清風園着 (千曲市)
- 前夜祭・宿泊 -
前夜祭 18:30 ~ (本館2階「白樺」)



11/21 (金)

田毎の月 / 棚田 (千曲市)
常田館製糸場 (上田市)
ホテルブエナビスタ着 (松本市)

D 古代のロマンから、現代のものづくりへ「甲州街道」コース

11/20 (木)

武重本家酒造・大澤酒造 (佐久市)
たてしな自由農園 (茅野市)
尖石縄文考古館 (茅野市)
白樺リゾート池の平ホテル着 (立科町)
- 前夜祭・宿泊 -
前夜祭 18:30 ~ (東館3階コンベンションホール「あるぶす」)



11/21 (金)

諏訪大社上社本宮 (諏訪市)
ニデックオルゴール記念館すわのね (下諏訪町)
ホテルブエナビスタ着 (松本市)



想いを最高のかたちに

SGCは金の精錬から製作、販売、買取まで、すべてを手がけるゴールドカンパニーです。

SGCは、全国に13店舗ございます。その他、全国各地の有名百貨店にて、総点数1,000点以上の金製品が一堂に会する「大黄金展」を開催しております。国内有数の金作家の技が生み出す、仏像・仏具、置物、和洋食器など数々の逸品を、ぜひ間近でご覧ください。

GINZA SGC

11:00~20:00 TEL 0120-375-614(直通)
〒104-0061 東京都中央区銀座5-7-10
EXITMELSA(旧ニューメルサ)4階
※貴金属・ジュエリーの買取・販売専門店です。

ゴールドショップ

日本橋高島屋店
10:30~19:30 TEL 03-5542-1619(直通)
〒103-8265 東京都中央区日本橋2-4-1
日本橋高島屋6階 ジュエリーサロン

ゴールドコンシェルジュ

日本橋三越本店
10:00~19:00 TEL 03-3274-6505(直通)
〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店 本館6階

ゴールドショップ

新宿高島屋店
10:30~19:30 TEL 03-5361-1067(直通)
〒151-8580 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-2
新宿高島屋4階 ジュエリー&ウオッチサロン

ゴールドサロン

伊勢丹新宿店
10:00~20:00 TEL 03-5357-7577(直通)
〒160-0022 東京都新宿区新宿3-14-1
伊勢丹新宿店 本館4階 ジュエリー

ゴールドショップ

横浜高島屋店
10:00~20:00 TEL 045-321-8866(直通)
〒220-8601 横浜市西区南幸1-6-31
横浜高島屋5階 ジュエリー&ウオッチサロン

ゴールドショップ

東武百貨店池袋店
10:00~19:00 TEL 03-5843-3350(直通)
〒171-8512 東京都豊島区西池袋1-1-25
東武百貨店 池袋店6F 10番地

ゴールドサロン

札幌三越店
10:00~19:00 TEL 011-222-8957(直通)
〒060-0061 札幌市中央区南1条西3丁目8
札幌三越本館9階

ゴールドショップ

松坂屋名古屋店
10:00~19:00 TEL 050-5785-4635(直通)
〒460-8430 名古屋市中区栄3-16-1
松坂屋名古屋店 本館7階

ゴールドショップ

大阪高島屋店
10:00~19:00 TEL 06-6631-3377(直通)
〒542-8510 大阪府中央区難波5-1-5
大阪高島屋7階

ゴールドショップ

京都高島屋店
10:00~20:00 TEL 075-252-2001(直通)
〒600-8520 京都市下京区四条通河原町
西入真町52 京都高島屋5階 宝石サロン

ゴールドショップ

大丸神戸店
10:00~19:00 TEL 078-945-8455(直通)
〒650-0037 神戸市中央区明石町40
大丸神戸店8階

ゴールドショップ

大丸福岡天神店
10:00~19:00 TEL 092-707-1959(直通)
〒810-8717 福岡市中央区天神1-4-1
大丸福岡天神店 東館エルガーラ4階

SGCはJALホノルルマラソンの公式サポーターズスポンサーです。

想いをゴールドという永遠に色褪せることないかたちで残すことが私たちの仕事です。2025年12月14日(日)に開催される「JALホノルルマラソン2025」では、フルマラソンと、フルマラソン車椅子部門の男女優勝者に202.5gの純金メダルを、そして、すべての完走者に金色の完走メダルを提供いたします。“想いを最高のかたちに”という弊社のブランドコンセプトと合致するこの大会に、あなたも参加してみませんか。



JALホノルルマラソン2025は12月14日(日)開催です。



【SGCホームページ】
こちらからご覧ください

「乗る」ことを旅行の目的とした、特別な列車体験をご堪能ください



信州 のってたのしい列車

HIGH RAIL 1375 おいこっと リゾートビューふるさと ナイトビュー嬢捨 HIGH RAIL 1375 おいこっと リゾートビューふるさと ナイトビュー嬢捨

HIGH RAIL 1375 おいこっと リゾートビューふるさと ナイトビュー嬢捨 HIGH RAIL 1375 おいこっと リゾートビューふるさと ナイトビュー嬢捨



天空にいちばん近い列車
HIGH RAIL 1375



HIGH RAIL 1375の
1375
ってどんな意味？

JR線で標高が最も高い区間を走る「天空にいちばん近い列車」で、高原地帯や八ヶ岳の眺望、星空を満喫する旅に出かけよう！



日本人のこころのふる里
おいこっと

唱歌「故郷（ふるさと）」に登場する動物や風景が列車に！
どんな情景イラストがあるかな？

どこか懐かしいふるさとの風景をお楽しみいただける飯山線。そんな風景と「ふるさと」や「おばあちゃんの家」を連想する茅葺き屋根の民家をイメージしたデザインの列車でホッと癒される旅をお楽しみください。

日本三大車窓の眺め
リゾートビューふるさと



リゾートビューふるさと
スイッチバック
って何？

篠ノ井線と大糸線内をつないで走るリゾートトレイン。車窓に流れる絶景も、おもてなしのひとつ。マウンテンリゾートならではの贅沢なひとときをお楽しみください。

ナイトビュー嬢捨
としても運行！



各列車の
詳細については
こちら



JR東日本長野支社エリアの
情報を各種SNSで発信中！



※2025年10月現在の情報です。写真・イラストはすべてイメージです。

ALPICO HOTELS



信州上諏訪温泉
諏訪別邸

朱白
SUHAKU

より快適に、より贅沢に。朱白が生まれ変わります。
2025年5月新装リニューアルオープン。



HOTEL BUENA VISTA 翔峰 朱白 上高地ルミエスタホテル アルピコプラザホテル エースイン松本

ALPICO GROUP

暮らしの中に、いつでも必要な存在に
お客様の満足度 No.1 を目指して

Always Here for You in Everyday Life
Striving to Be the No.1 in Customer Satisfaction

アルピコホールディングス株式会社

ALPICO HOLDINGS Co.,Ltd.

アルピコ交通株式会社 アルピコタクシー株式会社 株式会社デリシア アルピコホテルズ株式会社 アルピコリゾート&ライフ株式会社
アルピコ蔘科高原リゾート株式会社 アルピコ保険リース株式会社 アルピコ長野トラベル株式会社 株式会社マックドラッグ
ALPICO KOTSU Co.,Ltd. ALPICO TAXI Co.,Ltd. DELICIA Co.,Ltd. ALPICO HOTELS Co.,Ltd. ALPICO RESORT & LIFE Co.,Ltd.
ALPICO TATESHINA RESORT Co.,Ltd. ALPICO INSURANCE LEASING Co.,Ltd. ALPICO NAGANO TRAVEL Co.,Ltd. MAC DRUG Co.,Ltd.

祝 第36回 北前船フォーラム



THE LAKE RESORT
池の平ホテル&リゾート



池の平ホテル&リゾートは
創業70周年を迎えました

〒391-0392 長野県茅野市白樺湖 TEL.0266-68-2100 白樺リゾート



新しい翼で、世界の空へ。

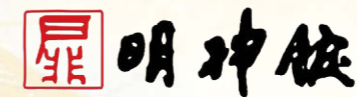
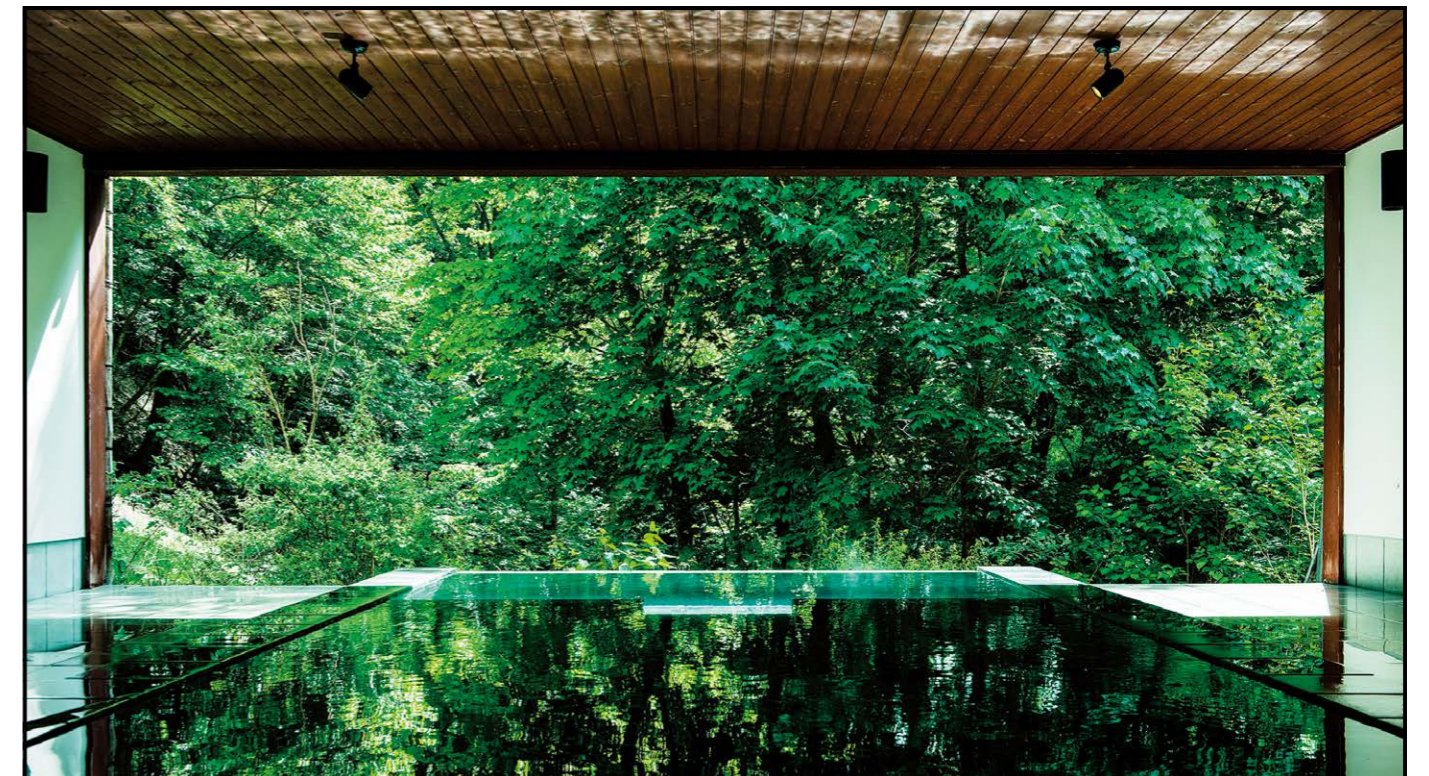


世界をつなぐ、あたらしい空へ。



ANA Inspiration of JAPAN | A STAR ALLIANCE MEMBER www.ana.co.jp

ありがとう!もっともっと!つながる未来へ



TOBIRA ONSEN MYOJINKAN

〒390-0222 長野県松本市入山辺8967
TEL:0263-31-2301





地産地消エネルギーを活用した資源循環モデルの実証施設 地球の恵みファーム・松本、本格稼働!!

長野県松本市に完成した本施設は「バイオマスガス化プラント」「メタン発酵プラント」「スマート陸上養殖プラント」「スマート農業ハウス」の4つの設備で構成。未利用バイオマス資源を有効活用したエネルギーおよび電力の製造、熱やCO₂の養殖や農業への利活用、廃棄物の製品化による資源循環モデルを実現します。



地球の恵みファーム・松本
長野県松本市梓川倭4047-2

地球の恵みを、社会の望みに。
 **エアウォータ**

地球の恵みを、社会の望みに。
 **エアウォータ東日本**



おもしろ楽しいキャラクターグッズや、ご当地フード・観光土産品など、多種多様な企画・開発を、ここ信州松本から全国に発信しております。

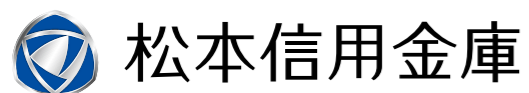
TAIYO CORPORATION, LTD
 **株式会社 タイヨー**

【本社】〒390-0805 長野県松本市清水2-11-43
TEL:0263-35-8831 (月~金 9時~17時 ※祝日除く)
お問い合わせは弊社ホームページからも可能です。
※事前にtaiyoc.co.jpのドメインを受信設定してください。



For your future

この街と生きていく



松本信用金庫

〒390-0873 長野県松本市丸の内1-1 TEL.0263-35-0001
<https://www.matsumoto-shinkin.jp/>



HP



丸子中央病院
MARUKO CENTRAL HOSPITAL



一般社団法人 ちの観光まちづくり推進機構

〒391-0001 長野県茅野市 ちの 3506 モンエイトビル 2F
TEL 0266-78-7631 FAX 0266-78-7310



Go! ガステナブル



地域とともに
未来を紡ぐ!

松本ガス株式会社

本社/〒390-8711
松本市渚2丁目7番9号 TEL 0263-25-6060(代)
<https://www.matsumotogas.co.jp/>

信州の美味しいそばをお腹いっぱい!

挽き立て
打ち立て
茹で立て

並・中・大
ざるそば
同価格!



小木曾製粉所®

※2025.10時点
全国39店舗展開中!! FC加盟店
さらに出店見込み多数!! 大募集中!



since 1973
長野県松本市笹賀 7600-51
TEL.0263-85-0080
王滝グループ
www.ohtaki-gp.jp



この街と、123年、これからも
愛する故郷の為に。



信州の老舗

- ・明治35年創業
- ・信州の百年企業〈信州の老舗〉
(長野県知事表彰)

健康経営優良法人 ・ 社員の子育て応援 ・ 松本市災害時サポート事業所

総合建設業
株式会社 村瀬組
松本市里山辺4293-8 TEL.0263-32-5566
URL <https://www.murasegumi.com/>



井上百貨店と魅力的な専門店が集合！




CITY 21
アミューズメント&ショッピング

アイシティ21 〒390-1394 東筑摩郡山形村7977
TEL.(0263)98-4521

【営業時間】午前10時～午後7時
井上のホームページ<https://www.inouedp.co.jp>

ご旅行は
協会加盟の旅行会社にご相談ください



一般社団法人長野県旅行業協会
理事長 長崎 義一

協同組合長野県旅行業協会
理事長 上原 道徳

〒380-0836 長野市南県町685-2 長野県食糧会館2F
☎026-235-0109

観光地を巡るには
「さわやか信州
観光ガイドタクシー」
が便利です！



一般社団法人
長野県タクシー協会
<https://www.n-taxi.com>

長野県タクシー協会 中信支部

人と地域をつなぐ
この街の駐車場



株式会社 五幸

〒390-0811
長野県松本市中央2丁目1番24号 五幸 本町ビル2階
本社 TEL.0263-39-8348
駐車場 TEL.0263-32-9008

五感で醸す。



アルプスと、大地の恵みで日本酒を造る。
それは水にこだわり、米にこだわり、造りにこだわること。
昔ながらの伝統の技で、手造りならではの感性を大切に。
見れ、触れて、香りを感じ、舌で味わい、酒の声を聴く。
五感を研ぎ澄ませて造った酒には、蔵人の思いが宿る。

純米大吟醸 山恵錦
純米大吟醸 山恵錦

命の一粒、命の一滴。酒質第一。酒造りに近道無し。
株式会社 亀田屋酒造店
〒390-0852 松本市島立2748 ☎0120-47-1320
<https://www.kametaya.co.jp/>

塩の道経済懇談会

糸魚川商工会議所
塩尻商工会議所
大町商工会議所
松本商工会議所

松本観光コンベンション協会
公式Instagram

観光情報や協会の挑戦を発信中！



MATSUMOTO_KANKO
@matsumoto_kanko

約10,000人が既にフォロー中。
あなたも仲間！

一般社団法人 松本観光コンベンション協会

2024年・2025年

「世界の持続可能な 観光地トップ100選」

千曲市が2年連続選出されました




信州千曲観光局は持続可能な観光地域づくりに取り組んでいます

一般社団法人 **信州千曲観光局**

TEL.026-261-0300 FAX.026-261-0350
<https://chikuma-kanko.com>



(一社)小谷村観光連盟 



KITAMAE-BUNE